

平成 31 年 4 月 22 日

第 17 回 萩市民病院経営改善プロジェクト 議 事 次 第

午後5時30分から 萩市役所 全員協議会室

I 市長あいさつ

II 自己紹介

III 議事

1. 萩市民病院事業新改革プランの中間点検・評価

(1) 平成29・30年度の進捗概要について

(2) 計画と実績の比較について

(3) 改革プランの点検結果に対する評価について

2. 令和元年度運営方針について

III その他

萩市民病院経営改善プロジェクト 委 員 名 簿

平成 31 年 4 月 22 日現在

区 分	氏 名	役 職
開設者側	藤 道 健 二	市長
	高 橋 博 史	副市長
	柴 田 一 郎	総務部長
	大 塚 喜 彦	財務部長
	田 中 慎 二	保健部長
	古 谷 勝 義	総務部次長（人事課長）
	中 村 雄 一 郎	地域医療推進課長
外部委員	坂 井 孝 司	山口大学大学院医学系研究科整形外科学教授
	長 谷 川 俊 史	山口大学大学院医学系研究科小児科学教授
	綿 貫 篤 志	萩市医師会会長
	前 田 和 成	山口県萩健康福祉センター所長
	大 島 昌 子	萩市社会福祉協議会会長
管理者側	米 澤 文 雄	院長
	中 村 丘	副院長
	米 城 秀	診療部長
	宮 内 美 智 代	看護部長
	井 本 義 則	事務部長
事務局：萩市民病院事務部		

病 院 概 要

平成31年4月1日

病 院 名	萩市民病院	
所 在 地	〒758-0061 山口県萩市大字椿 3460 番地 3 代表 TEL(0838)25-1200 / 代表 FAX(0838)25-1201	
開 設 者	萩市長 藤 道 健 二	
管 理 者	院 長 米 澤 文 雄	
開 設 日	平成 12 年 4 月 1 日	
診 療 科 目	内科 消化器科 循環器科 神経内科 呼吸器科 小児科 外科 整形外科 放射線科 リハビリテーション科	
病 床 数	一般病床 100 床	
病室の種類	HCU1 室 / 個室 24 室 / 2 床室 4 室 / 4 床室 17 室	
病 棟	東病棟 52 床 (小児 10 床を含む) / 西病棟 48 床 (HCU を含む)	
職 員 数	医師 33 名(うち非常勤 18 名) 看護師 100 名(うち非常勤 9 名) 准看護師 5 名(うち非常勤 5 名) 看護助手 9 名 薬剤師 3 名 臨床検査技師 7 名(うち非常勤 1 名) 診療放射線技師 6 名 臨床工 学技士 3 名 理学療法士 4 名 作業療法士 2 名 管理栄養士 2 名 社会福祉士 2 名 医局秘書 1 名 医師事務作業補助者 2 名 その他 27 名(うち非常勤 17 名) 事務職員 12 名 総勢 218 名(う ち非常勤 50 名)	
主要機器・ システム等	◆磁気共鳴断層撮影装置(MRI) シーメンス・ジャパン製 ◆マルチスライス CT 東芝製 ◆循環器 X 線血管撮影装置(DSA) 島津製作所製 ◆デジタル X 線 TV システム(DR) 日立メディコ製 ◆コンピューティッドラジオグラフィー(CR) 富士フィルムメディカル製 ◆マンモグラフィー 東芝製 ◆骨塩定量測定装置 日立アロカ製 ◆電子内視鏡装置 オリンパス製 ◆超音波診断装置 日立アロカ製 他 ◆統合型病院情報システム 亀田医療情報製 他 電子カルテシステム / 看護支援システム / 放射線画像システム / 文書管理システム 検査システム / 健診システム / 医事システム / 調剤システム / 給食システム リハビリテーションシステム ◆遠隔医療支援システム ◆臨床画像伝送システム 富士フィルムメディカル製	
敷 地	19,575.95 m ² (約 5,922 坪)	
建 物	本 館	構 造 鉄筋コンクリート造 3 階建 (平成 11 年 12 月竣工) ◆1 階 外来・検査部門等 ◆2 階 病棟 ◆3 階 手術室・管理部門 建築面積 4,278.40 m ² (約 1,294 坪) 延床面積 8,290.05 m ² (約 2,508 坪)
	東 館	構 造 鉄筋コンクリート造 3 階建 (平成 17 年 2 月竣工) ◆1 階 事務部門 ◆2 階 病棟 ◆3 階 管理部門 建築面積 496.61 m ² (約 150 坪) 延床面積 1,432.41 m ² (約 433 坪)
事 業 費	5,270 百万円 (医師宿舍を含む当初事業費) ※設計・管理 146 建設工事 2,958 外構工事 181 医療機器等 1,141 用地等 701 その他 143 504 百万円 (東館増築・小児医療施設整備を含む) ※設計・管理 7 建設工事 445 医療機器等 31 その他 20	
補 助 金 等	医療施設等施設整備費補助金 (国・県) 医療施設等設備整備費補助金 (国・県) 電気通信格差是正事業費補助金 (国) 看護師勤務環境改善施設費補助金 (県) 小児医療施設整備費補助金 (国・県) 小児医療設備整備費補助金 (国・県) 厚生年金・国民年金積立金還元融資ほか	

■ 併設施設

萩・福祉複合施設かがやき（事業費 2,579 百万円）
 運営主体：社会福祉法人 萩市社会福祉事業団
 〒758-0061 山口県萩市大字椿 3460 番地 2 TEL(0838)24-4111
 ◆1 階 デイサービスセンター
 ◆2 階 特別養護老人ホーム 入所 80 人
 ◆3 階 特別養護老人ホーム 入所 50 人 短期入所 20 人

■ 指 定 等

平成 17 年 3 月 6 日 (市町村合併による)	労災保険指定医療機関 身体障害者福祉法指定医の配置されている医療機関 生活保護法指定医療機関 結核指定医療機関 原子爆弾被害者一般疾病医療取扱医療機関 特定疾患治療研究事業委託医療機関 小児慢性特定疾患治療研究事業委託医療機関 へき地医療拠点病院
平成 21 年 7 月 1 日	DPC 対象病院
平成 24 年 4 月 1 日	保険医療機関（当初指定：平成 12 年 4 月 1 日）
平成 26 年 3 月 4 日	救急病院（当初指定：平成 12 年 8 月 4 日）
平成 27 年 4 月 1 日	山口県肝疾患専門医療機関（当初指定：平成 22 年 4 月 1 日）

■ 届出済み施設基準

平成 31 年 4 月 1 日

【基本診療料】

施設基準の種類	受 理 番 号	算定開始 年月日	備 考
急性期一般入院基本料 3	(一般入院) 第 667 号	H31.04.01	一般(2 棟 100 床)
診療録管理体制加算	(診療録 2) 第 7 号	H13.04.01	
医師事務作業補助体制加算 2	(事補 2) 第 85 号	H30.12.01	50 対 1 補助
急性期看護補助体制加算	(急性看護) 第 214 号	H31.04.01	25 対 1 (5 割未満)
看護職員夜間配置加算 2	(看護夜配) 第 28 号	H31.02.01	12 対 1
療養環境加算	(療) 第 183 号	H29.07.01	
重症者等療養環境特別加算	(重) 第 177 号	H24.12.01	
感染防止対策加算 2	(感染防止 2) 第 92 号	H28.10.01	
後発医薬品使用体制加算 2	(後発使 2) 第 6 号	H30.04.01	
認知症ケア加算	(認ケア) 第 90 号	H31.03.01	加算 2
データ提出加算 2	(データ提) 第 42 号	H26.04.01	(ロ) 200 床未満の病院
入退院支援加算 2	(入退支) 第 138 号	H28.10.01	
入院時食事療養 (I)	(食) 第 978 号	H18.04.01	

萩市民病院事業新改革プラン

中間点検・評価結果

平成 31 年 4 月 22 日

萩 市

1. 萩市民病院事業新改革プランの点検・評価

(1) 平成 29・30 年度の進捗概要について

【資料】1、2 頁参照

①患者数

平成 29 年度の患者数は、外来患者延数が 55,984 人、入院患者延数が 28,221 人

平成 30 年度の患者数は、外来患者延数が 54,748 人、入院患者延数が 27,694 人と人口減少に比例して患者数も減少しています。

②病床利用率等

病床利用率は、平成 29 年度が 71.4%、平成 30 年度が 69.8%。

平均在院日数は、平成 29 年度は 13.1 日、平成 30 年度が 11.9 日。

重症度、医療・看護必要度については、平成 29 年度が 25.6%、診療報酬改定のあった平成 30 年度については、30.4%。しかし、3 ヶ月平均で重症度が 27%を割り込んだことから、平成 31 年 4 月から急性期入院基本料 3 で算定することになりました。患者 1 人 1 日当たり入院収益は、平成 29 年度は 50,404 円、平成 30 年度が 49,789 円となり 615 円減少。一方、患者 1 人 1 日当たり外来収益は、平成 29 年度が 10,362 円、平成 30 年度が 10,523 円となり、161 円増加しています。

③決算状況等

【資料】3 頁参照

医業収益、医業外収益をあわせた事業収益は、平成 29 年度は 2,562,295 千円、平成 30 年度（決算見込）が 2,492,144 千円。これに対し、医業費用、医業外費用、特別損失をあわせた事業費用は、平成 29 年度が 2,683,533 千円、平成 30 年度（決算見込）が 2,668,755 千円でした。

この結果、純損失は平成 29 年度が 121,238 千円、平成 30 年度（決算見込）が 176,610 千円となりました。

医業活動の成否を判断する医業収支比率は、平成 29 年度は 84.9%、平成 30 年度が 82.4%。また、一般会計からの所定の繰り出し後の経常収支比率も、平成 29 年度は 95.5%平成 30 年度が 93.4%といずれも悪化しています。

なお、主な医療機器等の購入については、平成 29 年度に調剤、検査システム機器、解析機能付心電計、高周波手術装置、全自動散薬分包機、超音波凝固切開装置用超音波発生器等を更新。平成 30 年度には、一般 X 線撮影装置、移動型外科用 X 線装置、人工呼吸器 3 台、滅菌システム、自動血球計算装置等を更新しました。

(2) 計画と実績の比較について

数値目標については、萩市市民病院事業新改革プランの 12、13 頁、16 頁に掲載しています。また、収支計画を 21 頁に掲載しています。これらの数値目標と平成 30 年度実績について比較します。

《医療機能等指標に係る数値目標及び実績》 【資料】4 頁を参照

◇医療機能・医療品質に係るもの

救急車搬送患者数は、749 件の目標に対して 854 件と 100 件を上回っています。

また、紹介件数、逆紹介件数ともに目標を上回っていますが、患者数の減少等に伴い、手術件数は目標を下回りました。

◇その他

【資料】5、6 頁を参照

患者満足度については、入院については、150 名の患者の方から、外来については、386 名の患者の方から回答をいただいています。

入院については、前回調査（平成 29 年度）と比べて 1.6 点加点しており、知人等に当院を紹介や推薦したいと思われるかとの問いに、「是非したい」と「まあしたい」の合計が 100%となっています。

外来については、前回調査（平成 29 年度）と比べて 0.8 点減点し、目標到達には至りませんでした。要因としては平均待ち時間が前回調査時と比べて 5.4 分伸びたことによるものと思われます。

《経営指標に係る数値目標及び実績》

【資料】4 頁を参照

◇収支改善に係るもの

経常収支比率が 93.4%、医業収支比率 82.4%と目標に達しておらず、また、対前年比でも悪化しています。職員給与費対医業収益率については、年々増加し 67.3%となっています。

◇経費節減に係るもの

後発医薬品使用率については、平成 30 年 4 月から 12 月までのデータですが、83.7%と年々増加しています。また、職員給与費を除く医業費用の対医業収益比率及び材料費対医業収益比率については、減少しており、経費節減の効果が伺えます。

◇収入確保に係るもの

1日当たりの患者数は入院外来ともに減少しており、病床利用率が69.8%。1日当たり入院患者数が75.9人、1日当たり外来患者数が224.4人となりました。

また、患者1人1日当たりの入院収益は49,789円、患者1人1日当たりの外来収益は10,523円となり、いずれも目標に到達できませんでした。

DPC点数と出来高算定点数の差については、48,301千円と目標を大きく上回る結果となっています。

◇経営の安定性に係るもの

平成30年度の赤字決算に伴い、現金保有残高は対前年比で約1億2,500万円減少しています。これにより、流動資産も223.6%と目標値を大きく下回っています。

純資産の額も対前年比約6,700万円減少し、厳しい経営を迫られています。

《収支計画》

【資料】3頁を参照

平成30年度決算見込では、医業収益が対前年比で約6,600万円の減収、職員給与費が約4,100万円増加となったことなどから、純損失が約1億7,700万円見込まれています。平成29年度が1億2,000万円あまりの赤字であり、2年連続で1億円を超える赤字となりました。

(3) 改革プランの点検結果に対する評価について

- ◇ 平成 30 年度は、上半期において病床利用率が 58% 台まで落ち込み、上半期だけで入院収益が対前年比約 4,700 万円の減収となったが、その後の患者への治療を「しっかり、じっくり、ていねいに」を合言葉に取り組み、病床利用率を 78% 台まで回復させることができた。
- ◇ 基本診療料について、患者の重症度、医療・看護必要度が年間の平均では、30.4% であったが、平成 30 年 12 月からの 3 ヶ月平均で重症度が 27% を割り込んだことから、平成 31 年 4 月から急性期入院基本料 3 で算定することとなった。
こうしたことから、看護体制を調整し、急性期看護補助体制加算（25 対 1）及び看護職員夜間配置加算 2（12 対 1）を新たに算定することとした。
- ◇ 職員の時間外勤務については、業務の効率化を図るなどにより、全体で対前年比で 2,918 時間削減することができた。これにより職員の労働環境の向上と人件費の削減を図ることができた。引き続き職員の労働意欲が向上するように取り組んでいきたい。
- ◇ 診療材料、薬剤について、できるだけ安く適正な価格で購入できるように、ベンチマークシステムを導入し、令和元年度からの本格稼働に向け準備を行った。
- ◇ 病院施設が建設から 18 年が経過し、老朽化に伴う修繕箇所が増えている。また、医療機器も更新時期を迎え、経費がかさむ状況にあるが、長期的な視点で計画的な改修、更新を行なうように調整を図った。
- ◇ 課題としては、年々減少している患者数にある。今後、関係機関等の協力を得ながら、患者動向等の分析も行い、その結果も踏まえながら、対応を検討していくこととしたい。

2. 令和元年度運営方針について

【中期運営方針】

急性期を担う、山口県北部地域で唯一の公立病院として、以下を中期運営方針とする。

1. 市民および圏域の他の医療機関から頼りにされる病院として、急性期・専門医療を充実させる。
2. 「質の高い安全な医療、質の高い経営、働きやすい職場」すなわち、誇れる職場づくりを行う。
3. 萩市民病院事業新改革プランを履行する。
4. 人材教育をすすめる。

【令和元年度運営方針】

合い言葉「地域と職員の幸福を追求し、新改革プランの3年目の目標を達成する。」

1. 顧客の視点
地域における急性期入院機能の役割を果たす。
各科の活動性の指標となる代表的な項目の件数をアップさせる。
2. 業務プロセスの視点
働き方改革に係る改善を行なう。
3. 人材、学習と成長の視点
職員意欲・満足度調査の結果を受けて研修を行なう
4. 財務の視点
新改革プランの令和元年度の目標を達成する

資 料

萩市民病院改革プラン 点 検 ・ 評 価

平成 31 年 4 月 22 日

萩市民病院 平成29・30年度実績

①患者数等実績 前年度対比

	項 目	平成29年度		平成30年度		対比 ②－①
		実績①	1日平均	実績②	1日平均	
入院	■ 暦日数（日）	365		365		0
	■ 新入院患者数（人）	2,143	5.9	2,208	6.0	65
	■ 退院患者数（人）	2,162	5.9	2,201	6.0	39
	■ 在院患者延数（人）	26,059	71.4	25,493	69.8	▲ 566
	■ 入院患者延数（人）	28,221	77.3	27,694	75.9	▲ 527
	■ 病床稼働率（%）	77.3%		75.9%		▲ 1.4%
	■ 平均在院日数（日）	13.1		11.9		▲ 1.2
	■ 重症度・看護必要度（%）	25.6%		30.4%		▲ 3.5%
外来	■ 診療実日数（日）	244		244		0
	■ 外来患者延数（人）	55,984	229.4	54,748	224.4	▲ 1,236
	■ 初診内数（人）	4,740	19.4	4,630	19.0	▲ 110
	■ 救急車による搬入患者数（人）	771	3.2	854	3.5	83
単価	■ 患者1人1日当たり入院収益（円）	50,404		49,789		▲ 615
	■ 患者1人1日当たり外来収益（円）	10,362		10,523		161
機能	■ PCI件数	152		100		▲ 52
	■ 外科手術件数	178		179		1
	■ 整形外科手術件数	365		336		▲ 29

注：◇入院患者延数＝在院患者延数＋退院患者数

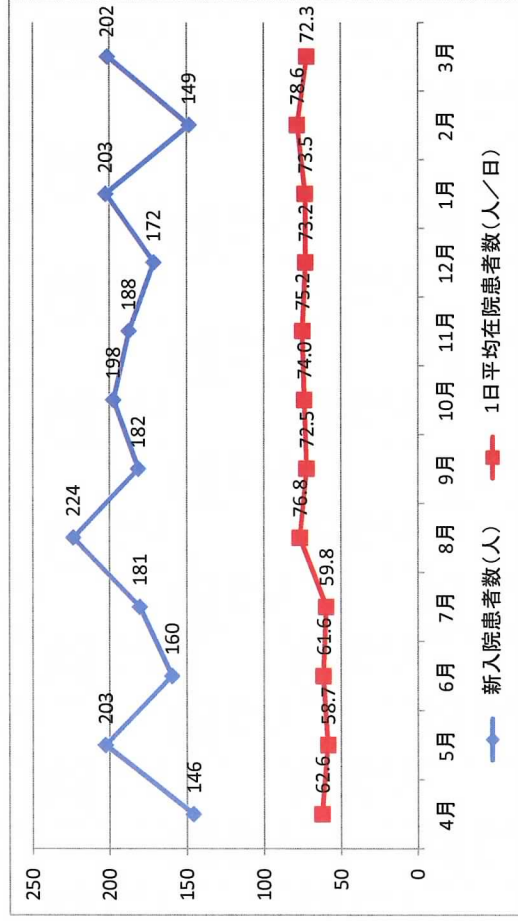
◇病床稼働率＝入院患者延数÷（100床×暦日数）

◇重症度・看護必要度は、基準を満たす重症者の総数に占める割合。7対1入院基本料を算定している場合は15%以上、重症者を入院させていること。

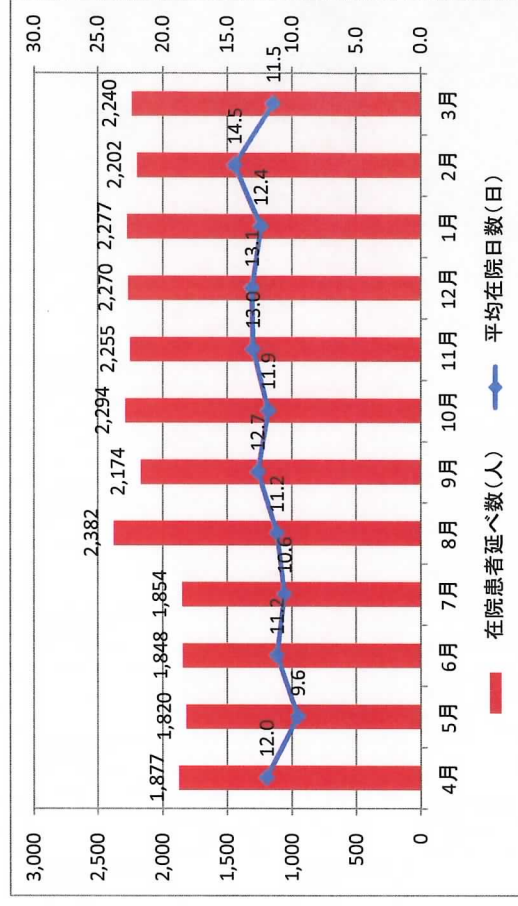
◇患者1人1日当たり収益は、その他医業収益である自賠責・労災等を含めたもの。

◇PCIは、急性心筋梗塞など心疾患に対する治療法で、経皮的冠動脈形成術のこと。

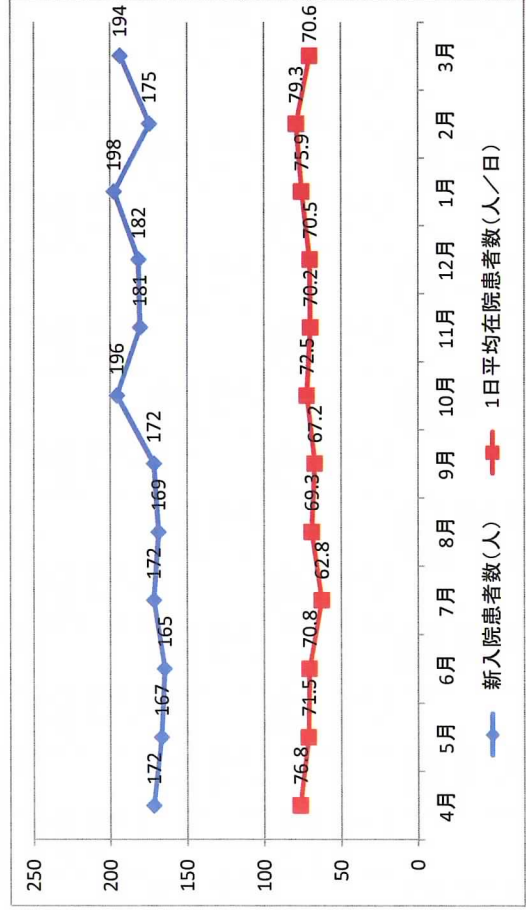
平成30年度 新入院患者数と1日平均在院患者数



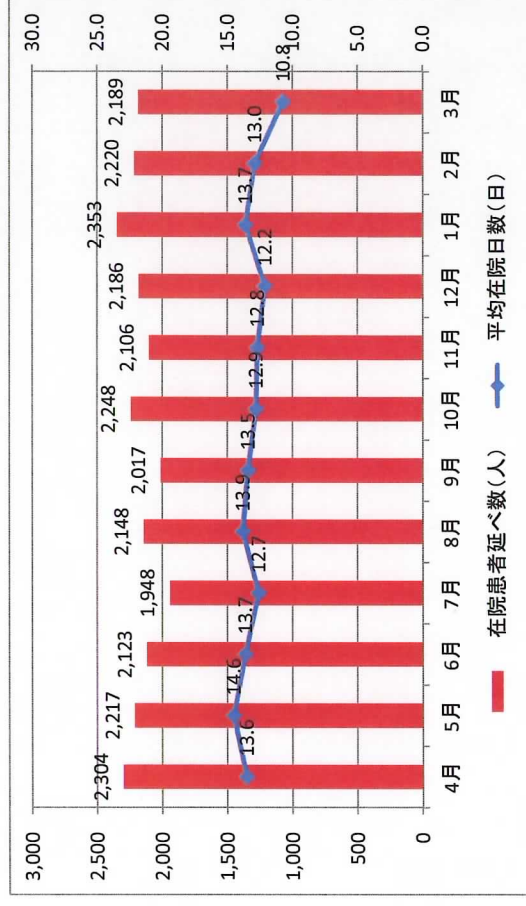
平成30年度 月別在院患者延べ人数と平均在院日数



平成29年度 新入院患者数と1日平均在院患者数



平成29年度 月別在院患者延べ人数と平均在院日数



◆収支計画

(単位：百万円、%)

区分	2017年度(平成29年度)			2018年度(平成30年度)			2019年度(令和元年度)	
	計画(a)	決算額(b)	(b)-(a)	計画(a)	決算額(b)※	(b)-(a)	計画	予算※
1. 医業収益 a	2,226	2,161	▲ 65	2,274	2,095	▲ 179	2,304	2,487
(1) 料金収入	1,989	1,916	▲ 73	2,034	1,834	▲ 200	2,060	2,227
(2) その他	237	245	8	240	261	21	244	260
うち他会計負担金	96	104	8	98	105	7	100	111
2. 医業外収益	437	401	▲ 36	438	397	▲ 41	436	457
(1) 他会計負担金・補助金	408	366	▲ 42	408	363	▲ 45	408	422
(2) 国(県)補助金	9	11	2	10	11	1	9	12
(3) 長期前受金戻入	5	5	0	5	6	1	4	5
(4) その他	15	19	4	15	17	2	15	18
経常収益(A)	2,663	2,562	▲ 101	2,712	2,492	▲ 220	2,740	2,944
1. 医業費用 b	2,545	2,546	1	2,572	2,544	▲ 28	2,589	2,906
(1) 職員給与費 c	1,374	1,368	▲ 6	1,388	1,409	21	1,402	1,551
(2) 材料費	482	486	4	482	443	▲ 39	481	534
(3) 経費	482	493	11	477	490	13	481	617
(4) 減価償却費	181	174	▲ 7	198	180	▲ 18	197	171
(5) その他	26	25	▲ 1	27	22	▲ 5	28	33
2. 医業外費用	142	137	▲ 5	127	125	▲ 2	120	69
(1) 支払利息	53	52	▲ 1	48	48	0	46	45
(2) その他	89	85	▲ 4	79	77	▲ 2	74	24
経常費用(B)	2,687	2,683	▲ 4	2,699	2,669	▲ 30	2,709	2,975
経常損益(A)-(B) (C)	▲ 24	▲ 121	▲ 97	13	▲ 177	▲ 190	31	▲ 31
1. 特別利益(D)			0			0		
2. 特別損失(E)			0			0		
特別損益(D)-(E) (F)	0	0	0	0	0	0	0	0
純損益(C)+(F)	▲ 24	▲ 121	▲ 97	13	▲ 177	▲ 190	31	▲ 31
累積欠損金(G)	▲ 413	▲ 564	▲ 151	▲ 400	▲ 741	▲ 341	▲ 369	▲ 772

※ 平成30年度決算額については、見込額

※ 令和元年度予算については、予備費(4,000万円)を除外

◆医療機能等指標に係る数値目標及び実績

(1) 医療機能・医療品質に係るもの

項目	2017年度（平成29年度）			2018年度（平成30年度）			評価
	目標 (a)	実績 (b)	(b) - (a)	目標	実績	(b) - (a)	
救急車搬送患者数	734	771	37	749	854	105	○
紹介患者数	1,979	2,093	114	2,019	2,107	88	○
逆紹介患者数	1,260	1,426	166	1,285	1,294	9	△
外科手術件数	206	178	▲ 28	210	179	▲ 31	×
整形外科手術件数	319	365	46	325	336	11	○
PCI件数	119	152	33	121	100	▲ 21	×
消化管内内視鏡手術件数	179	135	▲ 44	183	147	▲ 36	×
在宅ケア研修会の実施	年2回	年2回	—	年2回	年2回	—	△
研修の受け入れ（全ての延べ人数）	2,234	2,170	▲ 64	2,234	2,398	164	○

(2) その他

項目	2017年度（平成29年度）			2018年度（平成30年度）			評価
	目標 (a)	実績 (b)	(b) - (a)	目標	実績	(b) - (a)	
患者満足度（総合評価：入院）	88点	88.0点	—	88点	89.6点	1.6	△
患者満足度（総合評価：外来）	81点	80.9点	▲ 0.1	81点	80.1点	▲ 0.9	△
共同利用	262件	215件	▲ 47	267件	213件	▲ 54	×

◆経営指標に係る数値目標及び実績

(1) 収支改善に係るもの

項目	2017年度（平成29年度）			2018年度（平成30年度）			評価
	目標 (a)	実績 (b)	(b) - (a)	目標 (a)	実績 (b)	(b) - (a)	
経常収支比率（％）	99.1	95.5	▲ 3.6	100.5	93.4	▲ 7.1	×
※ 職員給与と費対医業収益率（％）	61.7	63.3	1.6	61.0	67.3	6.3	×
医業収支比率（％）	87.5	84.9	▲ 2.6	88.4	82.4	▲ 6.0	×

(2) 経費節減に係るもの

項目	2017年度（平成29年度）			2018年度（平成30年度）			評価
	目標 (a)	実績 (b)	(b) - (a)	目標 (a)	実績 (b)	(b) - (a)	
後発医薬品使用率（％）	78.0	82.5	4.5	80.0	83.7	3.7	○
職員給与と費を除く医業費用の対医業収益比率（％）	52.7	54.5	1.8	52.0	54.1	2.1	×
※ 材料費対医業収益比率（％）	21.6	22.5	0.9	21.6	21.0	▲ 0.6	○

(3) 収入確保に係るもの

項目	2017年度（平成29年度）			2018年度（平成30年度）			評価
	目標 (a)	実績 (b)	(b) - (a)	目標 (a)	実績 (b)	(b) - (a)	
1日当たり入院患者数（人）	82.0	77.3	▲ 4.7	82.0	75.9	▲ 6.1	×
1日当たり外来患者数（人）	239.4	229.4	▲ 10.0	239.4	224.4	▲ 15.0	×
患者1人1日当たり入院収益（円）	49,218	50,404	1,186	50,202	49,789	▲ 413	△
患者1人1日当たり外来収益（円）	10,722	10,362	▲ 360	11,044	10,523	▲ 521	×
DPC点数と出来高算定点数の差（千円）	20,000	35,704	15,704	20,000	48,301	28,301	○
病床利用率（％）※	76.0	71.4	▲ 4.6	76.0	69.8	▲ 6.2	×

(4) 経営の安定性に係るもの

項目	2017年度（平成29年度）			2018年度（平成30年度）			評価
	目標 (a)	実績 (b)	(b) - (a)	目標 (a)	実績 (b)	(b) - (a)	
純資産の額（千円）	465,163	311,665	▲ 153,498	590,018	244,199	▲ 345,819	×
現金保有残高（千円）	814,189	725,601	▲ 88,588	797,989	600,189	▲ 197,800	×
流動比率（％）	317.7	230.7	▲ 87.0	333.2	223.6	▲ 109.6	×

（評価欄） 目標値が＋3％ポイント以上 ⇒ ○ ▲3％ポイント以下 ⇒ ×
 目標値が▲3％ポイントを超え＋3％ポイント未満の場合 ⇒ △
 ※の項目については、○×評価が逆

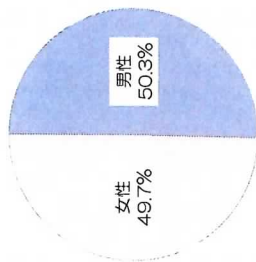
平成30年12月3日～平成31年1月31日実施、回答者数150人

患者さま満足度調査の結果 <外来部門>

平成30年12月10日～12月14日実施、回答者数386人

■回答者の性別・年齢

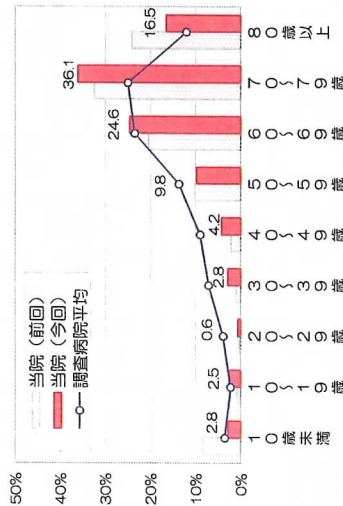
有効回答者数： 360人



前回調査： 男性47.9%、女性52.1%
調査病院平均： 男性46.0%、女性54.0%

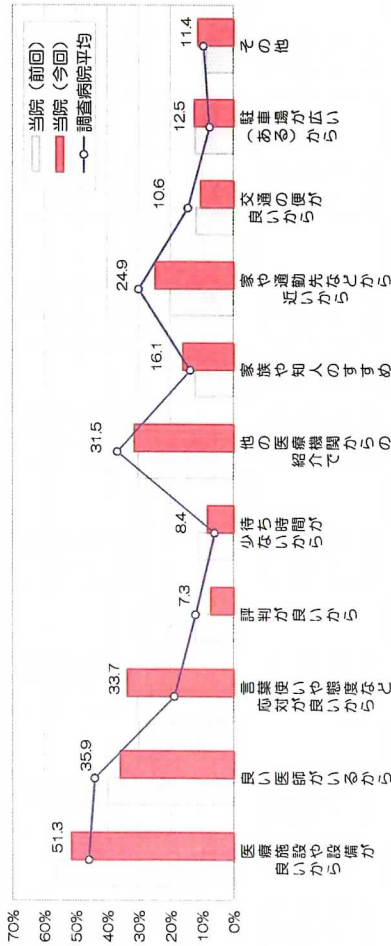
*無回答、わからない・該当しないは除外して集計

平均年齢： 65.8歳
有効回答者数： 357人



■当院の選択理由 (複数回答可)

有効回答者数： 273人



■診察待ち時間

有効回答者数： 290人

平均待ち時間： 40.8分
前回調査との差： +5.4分
調査病院平均との差： -6.7分

■総合評価点

有効回答者数： 317人

「総合的に当院を100満点で評価すると、何点ぐらいになりますか」

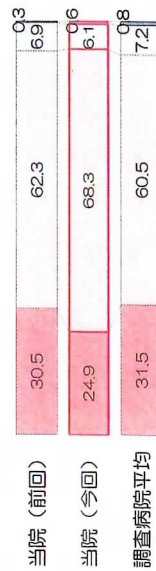
平均評価点： 80.1点
前回調査との差： -0.8点
調査病院平均との差： +0.4点

■紹介・推薦意向

有効回答者数： 309人

「知人等に、当院を紹介や推薦したいと思われますか」

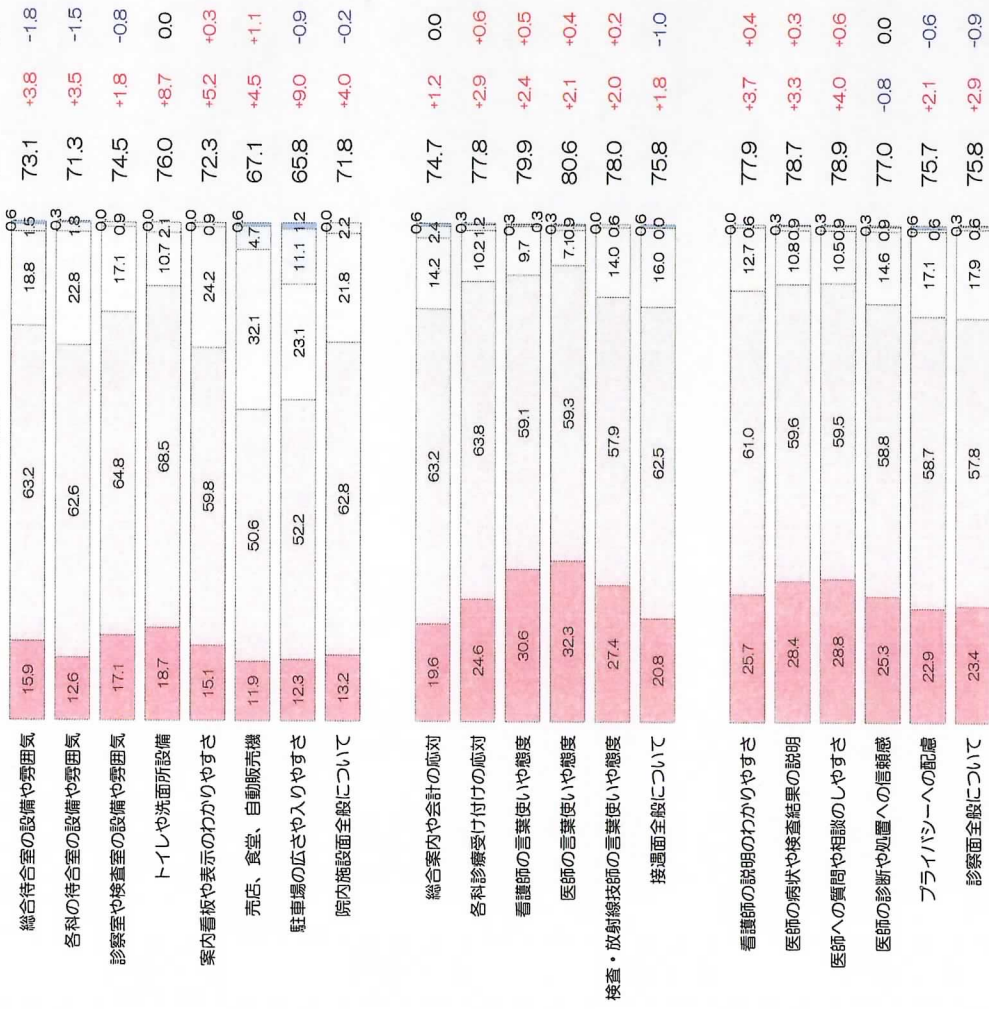
是非したい 是非しない あまりしたい あまりしない 全くしたくない



前回調査： 平成29年11月13日～17日実施 (回答者数：431人)
調査病院平均： 同内容の調査実施 122病院の平均値 (平均病床数：408床)

*インデックスは、「非常に満足」を100点、「満足」を75点、「どちらともいえない」を50点、「やや不満」を25点、「不満」を0点とした平均評価点

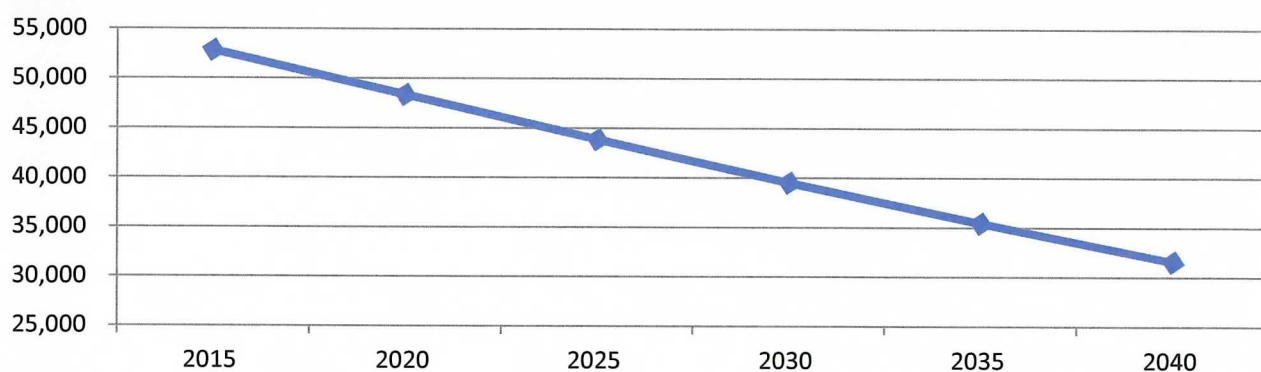
■個別項目の満足度



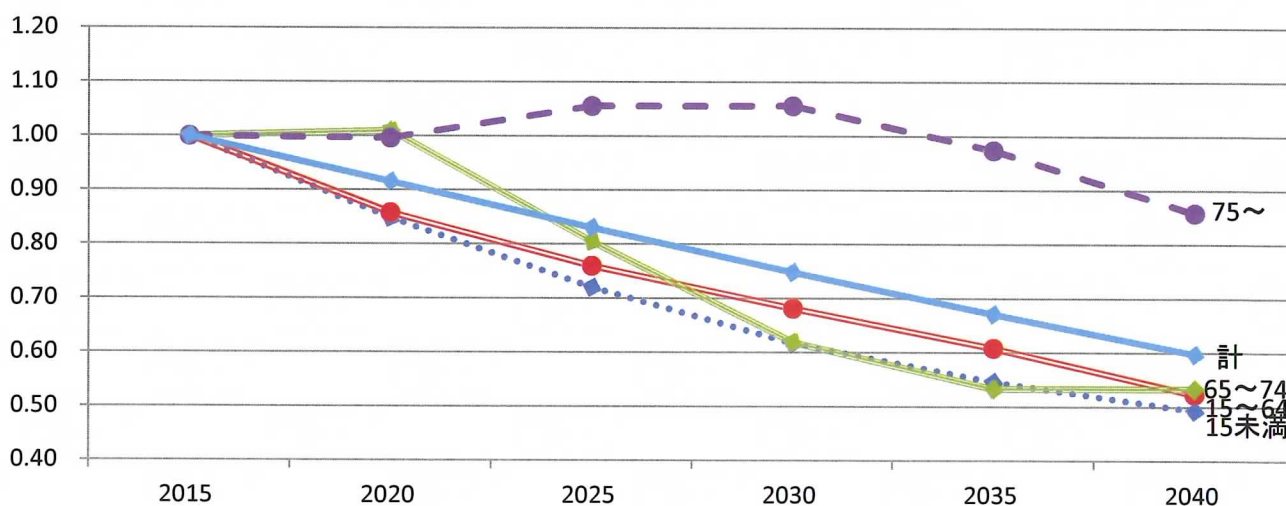
萩医療圏の人口及び高齢化に伴い増加が予想される疾患に係る入院患者数(県全体)の推移

今後、総人口は減少するが、人口構造の変化に伴い、医療需要の内容も変化する
ことから、将来の医療需要に応じた医療提供体制の構築が必要

総人口(萩医療圏)

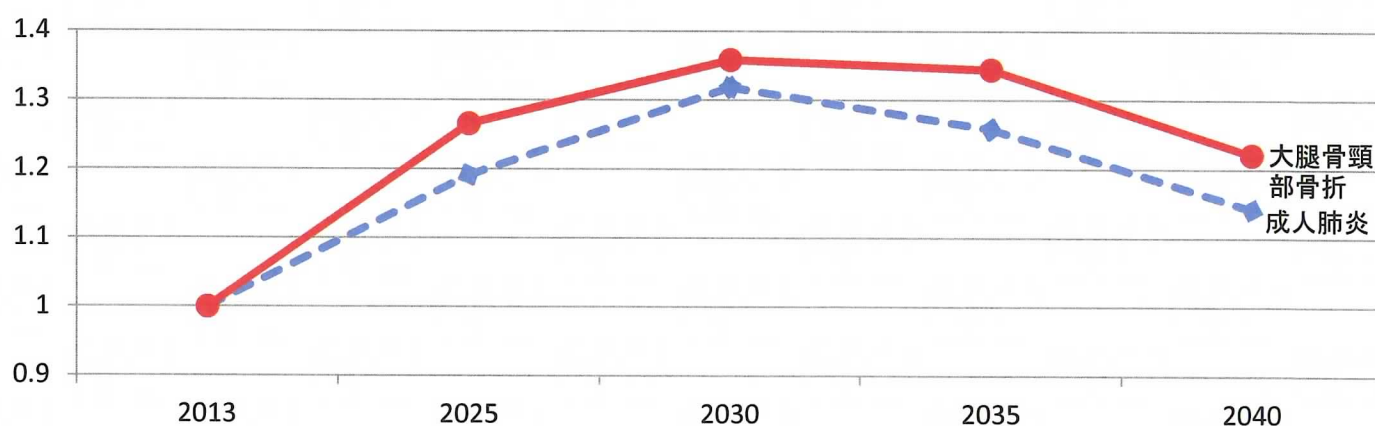


年齢階級別人口変化率(萩医療圏)



国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(平成25年3月推計)」

大腿骨頸部骨折及び成人肺炎に係る1日入院患者数の推移(山口県)



(地域別) 年齢3区分別人口と割合

平成31年3月末現在

地 域		人口	3区分別人口				3区分別人口の割合			
			0～14歳	15～64歳	65歳以上	内75歳以上	0～14歳	15～64歳	65歳以上	内75歳以上
萩	川 内	14,533	1,554	7,691	5,288	2,823	10.7%	52.9%	36.4%	19.4%
	椿 東	10,833	1,106	5,540	4,187	2,017	10.2%	51.1%	38.7%	18.6%
	再掲 小 畑	1,914	151	921	842	364	7.9%	48.1%	44.0%	19.0%
	再掲 越ヶ浜	1,349	61	598	690	379	4.5%	44.3%	51.1%	28.1%
	椿	3,995	483	2,140	1,372	715	12.1%	53.6%	34.3%	17.9%
	山 田	2,706	203	1,324	1,179	634	7.5%	48.9%	43.6%	23.4%
	再掲 木 間	109	1	34	74	41	0.9%	31.2%	67.9%	37.6%
	三 見	1,123	52	461	610	350	4.6%	41.1%	54.3%	31.2%
	大 井	1,827	67	758	1,002	534	3.7%	41.5%	54.8%	29.2%
	大 島	677	73	346	258	143	10.8%	51.1%	38.1%	21.1%
	相島・櫃島	149	10	63	76	40	6.7%	42.3%	51.0%	26.8%
	見 島	732	32	305	395	228	4.4%	41.7%	54.0%	31.1%
	小 計	36,575	3,580	18,628	14,367	7,484	9.8%	50.9%	39.3%	20.5%
川上	川 上	828	48	354	426	230	5.8%	42.8%	51.4%	27.8%
	小 計	828	48	354	426	230	5.8%	42.8%	51.4%	27.8%
田万川	小 川	918	62	376	480	308	6.8%	41.0%	52.3%	33.6%
	江 崎	1,668	122	698	848	480	7.3%	41.8%	50.8%	28.8%
	小 計	2,586	184	1,074	1,328	788	7.1%	41.5%	51.4%	30.5%
むつみ	吉 部	874	49	344	481	283	5.6%	39.4%	55.0%	32.4%
	高 俣	537	28	201	308	181	5.2%	37.4%	57.4%	33.7%
	小 計	1,411	77	545	789	464	5.5%	38.6%	55.9%	32.9%
須 佐	須 佐	1,978	129	852	997	556	6.5%	43.1%	50.4%	28.1%
	弥 富	479	14	174	291	177	2.9%	36.3%	60.8%	37.0%
	小 計	2,457	143	1,026	1,288	733	5.8%	41.8%	52.4%	29.8%
旭	明 木	938	74	389	475	279	7.9%	41.5%	50.6%	29.7%
	佐 々 並	621	39	239	343	200	6.3%	38.5%	55.2%	32.2%
	小 計	1,559	113	628	818	479	7.2%	40.3%	52.5%	30.7%
福 栄	福 川	875	56	338	481	267	6.4%	38.6%	55.0%	30.5%
	紫 福	808	48	329	431	249	5.9%	40.7%	53.3%	30.8%
	小 計	1,683	104	667	912	516	6.2%	39.6%	54.2%	30.7%
合 計		47,099	4,249	22,922	19,928	10,694	9.0%	48.7%	42.3%	22.7%

※ 割合は、小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

※ 「住民基本台帳の一部を改正する法律」が平成24年7月9日に施行されたことに伴い、外国人数が含まれるようになりました。